

文教速報

平成十六年六月十八日（金曜日）第六六一四号

=隔日刊・月・水・金=
但祭日休刊
(月額6,825円税込)
©官庁通信社

東京都千代田区神田須田町
二一十三一十四

官庁通信社

電話 総務 (三三五) 五七五一
FAX 編集 (三三五) 五七五五
(三三五) 五七五三

- 【会議】
◎◎ 全国連合農学研究科協議会開く（農工大）
◎◎ 中国地区高専校長・事務部長会議開く（宇都高専）
〔ニュース〕
◎ 小樽商大ビジネススクール開校記念式 7月25日
◎ 専門職大学院アントレプレナーシップ専攻
◎ 鳥取大、VBL竣工記念式典を举行
◎ ブレストレストコンクリート技術協会賞を受賞
◎ 京大桂キャンパス総合研究棟
◎ 富山大「安全衛生監理室」開設
◎ 拉致被害者子女教育支援審議会議を開催（福井大）
◎ 北大、厚岸町と相互協力協定を締結
◎ 愛知教大、県内教育関係者と懇談
◎ 県内新採用職員研修（上越教大）
◎ 八代高専、創立30周年記念行事で人文字作成
◎ 八戸高専でJABEE学内（模擬）審査
◎ 明石高専イヴニングセミナー
◎ 原理事長の再任など発令
◎ 第60回日本芸術院授賞式を举行（芸術院）
◎ ボランティアセミナー（赤城）
◎ 佐賀大が環境美化キャンペーン
◎ 鹿児島高専サッカー部が県高校総体で3位
〔通知〕 文部科学省交通安全業務計画について
◎ 佐藤・元岡崎共同研究機構管理局長が逝去
※ アテネ五輪出場卒業生の応援キャンペーン（愛媛大）
愛媛大学では、同大卒業生でアテネ五輪にボート競技（男子軽量級ダブルスカル）で出場する武田大作選手（ダイキ㈱所属）の五輪での健闘を祈念して、このほどボート部員を中心とした応援キャンペーンを行つた。
このキャンペーンは、先立つて行われた武田選手の応援横断幕の設置に引き続いて実施したもの。強烈な日差しが降り注ぐ中、大学生協前広場で、ボート部員、学生ボランティア及び大学職員らによる応援募金と応援メッセージの呼びかけに、多くの学生たちから快く協力が得られ、善意の募金と二百名を超えるメッセージが集まつた。この模様は、地元の報道機関でも大きく取り上げられた。



一一一〇八七七五六五五四四三二二

E-mail:kancho.t@iris.ocn.ne.jp

鳥取大、VBL竣工記念式典を挙行

鳥取大学では、「ベンチャービジネスラボラトリ(VBL)」の完成を記念し、竣工式典を学内及び産業界等から約二百名の出席を得て去る6月2日挙行した。記念式典では、道上正規学長及び小幡文雄ラボラトリ長から、若手研究者育成の熱い思いと、ベンチャーリー上げに寄せる期待などを踏まえた挨拶があり、来賓の松崎憲隆文教施設企画部参事官補佐、山下輝昭中國経済産業局産業部次長から祝辞が述べられ、最後に長谷川施設環境部長から施設概要の説明があった。

さらに式後には、VBL玄関前で代表によりテープカットが行われ、引き続き出席者は関係者の案内で施設見学を行つた。

京大桂キャンパス総合研究棟
プレストレストコンクリート技術協会賞を受賞

京都大学桂キャンパス総合研究棟が、平成十五年度「プレストレストコンクリート技術協会賞(作品賞)」を受賞した。

この賞は、プレストレストコンクリート技術の進歩、発展に顕著な貢献をしたと認められる作品に対して、(社)プレストレストコンクリート技術協会より与えられるもの。

京大桂キャンパス総合研究棟は、工学研究科の桂キャンパス移転の先駆けとして整備された施設。P.C.a P.C.工法を採用することにより自由度の豊かな空間形成を可能とし、プロジェクト研究を行う共同スペースやラウンジ等のゆとりと潤いのある空間を確保するよう計画されている。

施工にあたつては、「環境との共生」と「高度な施設水準」を目指し、現場でのコンクリート打設や型枠製作による騒音、産業廃棄物の低減効果や百年建築を目指す耐久性の高い建物の実現のためP.C.a P.C.工法を採用し、環境負荷の低減対策に努めた。

この施設整備により、桂キャンパス整備のコンセプトであるテクノロジーとサイエンスが融合する「テクノ・サイエンス・ビル」が実現し、大学を取り巻くさまざまな時代の要請に応えることが可能となつた。



京大桂キャンパス総合研究棟東側外観



テープカットを行う松崎参事官補佐ら

京都大学総合博物館は、春季企画展「森と里と海の春」を開催、連日多くの市民で賑わっている。京大フレールド科学教育研究センター(京大フレールド研)は、企画展では、「二十一世紀の地球規模の環境問題の解

は、野外研究関連の諸施設と併せて、京大の伝統であるフレールド科学の一大拠点として、京大キャンパス整備のコンセプトである「テクノ・サイエンス・ビル」が実現し、決」という壮大なミッションを掲げて昨年発足したセンターを紹介している。会期は八月二十九日まで。センターでは、会期中一万名の入館者を目標に広報活動に努めている。

京大フレールド研、春季企画展を好評開催

は、野球場の建設によって、京大フレールド科学教育研究センター(京大フレールド研)は、企画展では、「二十一世紀の地球規模の環境問題の解